

インターンシップの概要

【インターンシップの必要性】

一級自動車整備士養成課程においては、学科及び実習に加えて体験実習（インターンシップ）を実施することが定められており、認証工場での点検実習（一般整備・定期点検等）、故障診断（トラブルシュート・診断等）、総合診断（顧客対応・環境保全・安全管理等）をインターンシップにて200時間以上実施することが規定されている。

【インターンシップの目的】

教育の場を学校から企業に移し、学んできた理論と技術を実践的な場でさらに高める。また、企業内で行われている業務内容を理解し、残された在学期間において具体的な目標を掲げて実務にリンクした学習を行うための下地をつくる。

【インターンシップの取り組み】

I. 実施時期

4年次の前期（6月）15日間

後期（11月）15日間 合計 30日

II. 科目・時間

前期 実務体験実習Ⅰ

後期 実務体験実習Ⅱ 合計 270時間

III. インターンシップのねらい

学校で身につけた知識・技術を内定先である企業でインターンシップを行い、学校での授業と実際の現場での関連や違いを確認し、社会人としての意識を高める。

また、企業との連携を密にする事で、前期・後期の2回に分けたインターンシップを実施します。インターンシップを分けることにより、1回目で確認した個々の課題を学校内で学習し、2回目のインターンシップに繋げることでより学習効果の向上を目指す。